

アジスロマイシン点眼後の IPL 治療に関する多施設共同研究

福岡詩麻 (LIME 研究会、大宮はまだ眼科西口分院、東京大)、有田玲子 (LIME 研究会、伊藤医院)

Multicenter study on Intense Pulsed Light therapy after azithromycin eye drops

【目的】 アジスロマイシン点眼 (AZM) はマイボーム腺機能不全 (MGD) の国際ガイドラインで Stage 2 の治療薬であり、眼瞼炎に伴う MGD への安全性と有効性が示されている。AZM とともに Intense Pulsed Light 治療 (IPL) も我が国の MGD 診療ガイドラインで推奨されている。

今回我々は、リアルワールドにおいて、AZM 投与後に IPL を施行した症例と施行しなかった症例の特徴をレトロスペクティブに比較検討した。

【対象と方法】 対象は、2019 年 9 月から 2022 年 2 月末までに伊藤医院と大宮はまだ眼科西口分院で AZM を投与し、3 ヶ月以上経過観察できた MGD 患者 515 例 (男性 166 例、女性 349 例、 57.1 ± 16.0 歳)。調査項目は、年齢、性別、AZM 初回投与前の自覚症状、眼瞼縁所見、マイバムグレード、AZM 投与回数、IPL 治療の有無、併用療法とした。

【結果】 AZM 投与後 IPL を 126 例 (24%) に施行した。IPL あり群の方が IPL なし群と比較し、年齢が低く ($p=0.006$)、初回 AZM 投与前の自覚症状スコア、眼瞼縁所見 (各 $p<0.001$)、マイバムグレード ($p=0.001$) が有意に高く、AZM 投与回数が多かった ($p<0.001$)。性別による差はなかった ($p=0.74$)。IPL あり群の方がリッドハイジーン ($p=0.004$) とマイバム圧出 ($p<0.001$) を高率に施行していた。温罨法は 2 群間で差がなかった ($p=0.78$)。

【結論】 眼瞼炎に伴う MGD に対し AZM 投与後 IPL 治療を要する症例は、AZM 投与前から重症である症例が多い。